

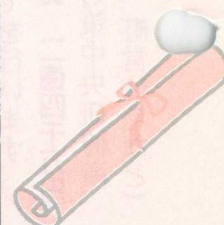
広報

あかいけ

4

二千年春
新たな人生の一步

春の訪れを感じさせる三月十日、赤池中学校の卒業式が行われました。一三五人の若人が九年間の義務教育を終え、新たな人生の一步を力強く踏み出しました。



旋律

「年を重ねただけでは人は老いなどない。理想を失うときはじめて老いくる」と、アメリカのサミエル・

ウールマン「青春」の詩はうたっています。「青春」とは、人生のある期間をいうのではなく、心の模様のことをいいます。未知なるものへの挑戦や向上心、人生を喜ぶ姿勢、探求心、そういうものを持ち続けている間は、たとえ百歳であるうと、その人にとっては「青春」なのだと思います

▼四月から、家族だけでなく社会全体で高齢者を支えようという「介護保険制度」がスタートします。福祉の理念も「与えられる福祉」から「自ら選択する福祉」へ百八十度転換します

▼年を重ね、介護を受ける立場になっても、決して悲観しないでください。自分に合ったサービスを選び、自立できるよう努力して欲しいと願います。目標や希望を持っている限り「青春」であり、すばらしい人生は続いて行くのですから：